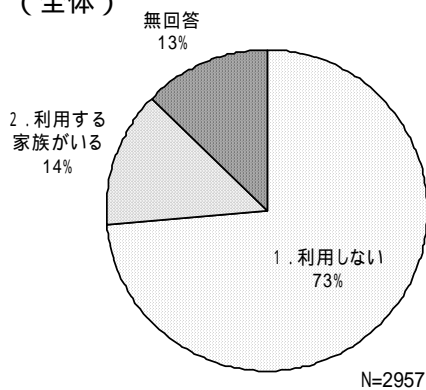


(2) 路線バスの利用状況

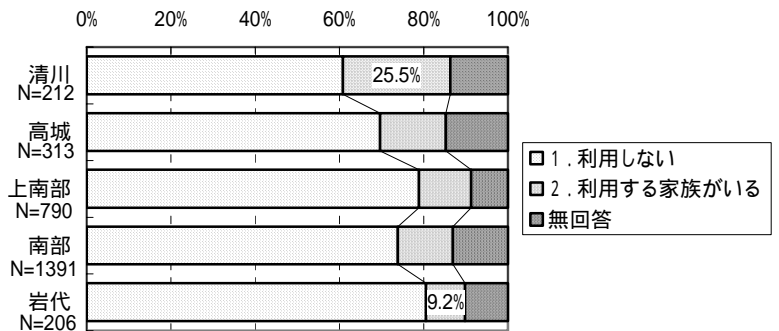
問4. あなた及びあなたの家族の路線バス（明光バス、龍神バス）の利用状況 (全員回答)

全体で利用する人は14%、利用しない人は73%となっている。地区別では、清川地区が25.5%と最も高く、岩代地区が9.2%と最も低い。また家族構成別では、65歳以上の一人暮らしと高齢者夫婦世帯がそれぞれ19.8%、19.0%と利用する人が多く、若年の夫婦世帯が5.5%と最も少なくなっている。

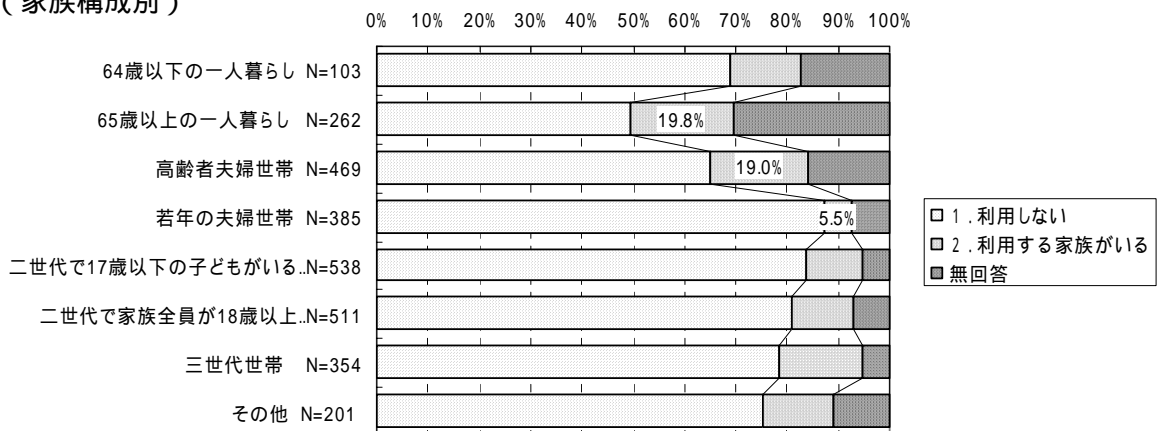
(全体)



(地区別)



(家族構成別)



問 4 - 1 . どなたがバスをご利用ですか。バスをご利用の方についてお答え下さい。

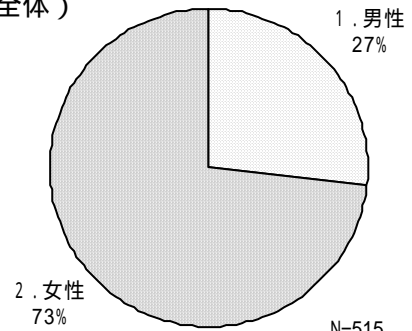
(路線バス利用世帯のみ回答)

性 別

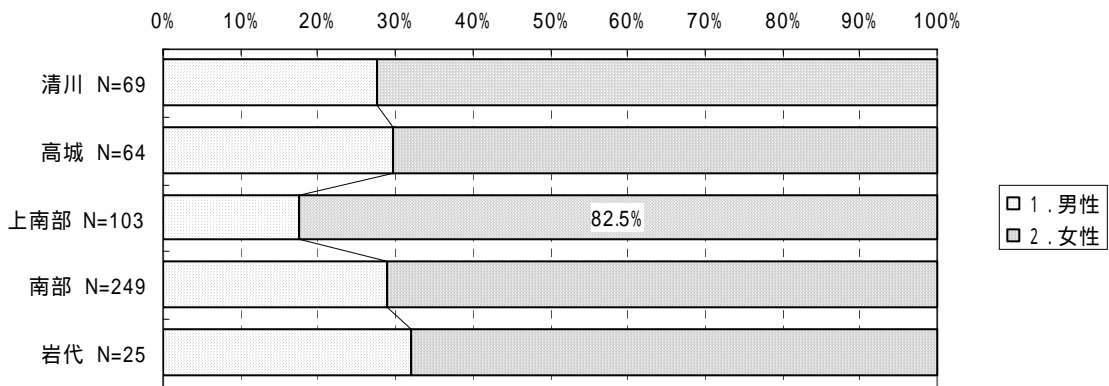
路線バスの利用者は女性が約 7 割、男性が約 3 割と
なっており、全体的に女性の利用者が多い。

地区別でみると、上南部地区では女性の利用者が約
80%を占めており特に高くなっている。

(全体)



(地区別)



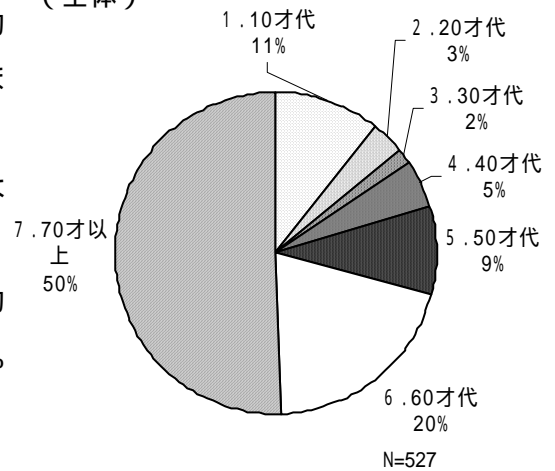
年 代

路線バスの利用者の年代をみると、利用者のうち約
70%が 60 才代以上で、特に 70 才以上の利用者はほ
ぼ半分となっており、高齢者の利用率が高い。

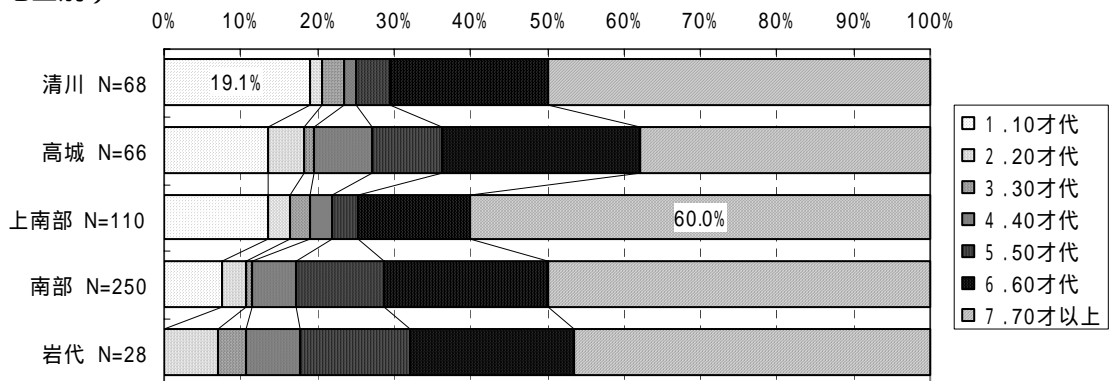
次いで 10 才代が 11%と多く、20、30 才代では
低い利用率となっている。

地区別では、上南部地区で 70 才以上の利用が約
60%と高く、10 才代の利用では清川地区が約 20%
と高くなっている。

(全体)



(地区別)

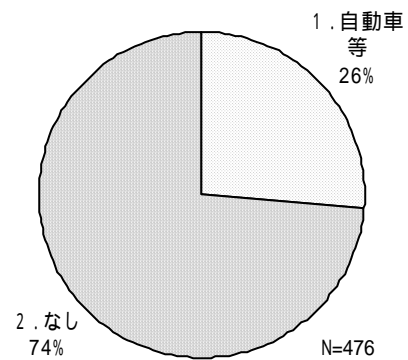


免許証

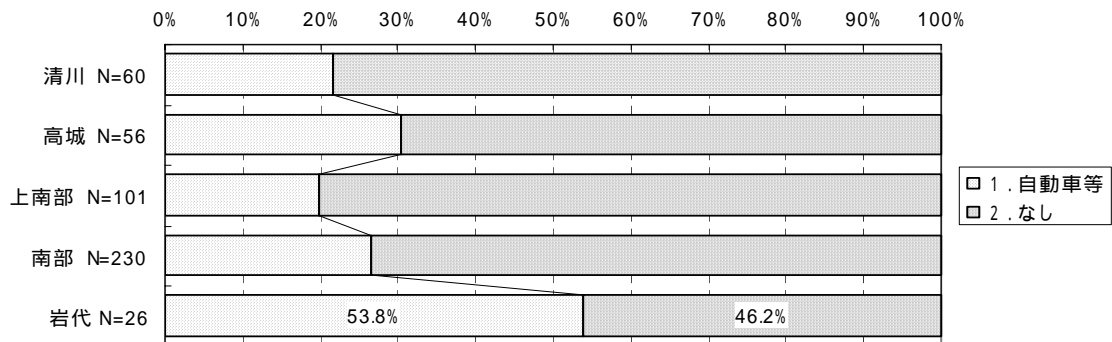
バス利用者のうち自動車等の免許証の所有率は26%であった。

一方岩代地区に限ってみると、バス利用者のうち約半分の人は自動車等の免許を所有おり、自動車等の運転ができて、バスを利用する割合が高いといえる。

(全体)



(地区別)

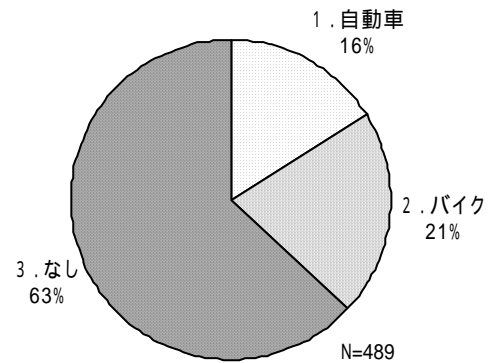


本人が使える自動車等

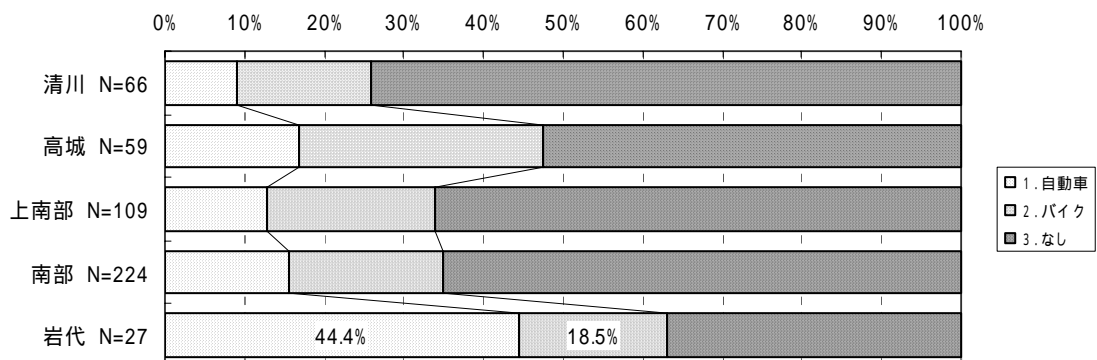
バス利用者のうち自動車が使える人は16%で、自動車よりもバイク使用者が21%と若干多くなっている。

清川・高城・上南部・南部の4地区では、回答にほとんど差が見られないが、岩代地区では自動車が使える人は40%以上、バイクも合わせると60%以上となっている。

(全体)



(地区別)

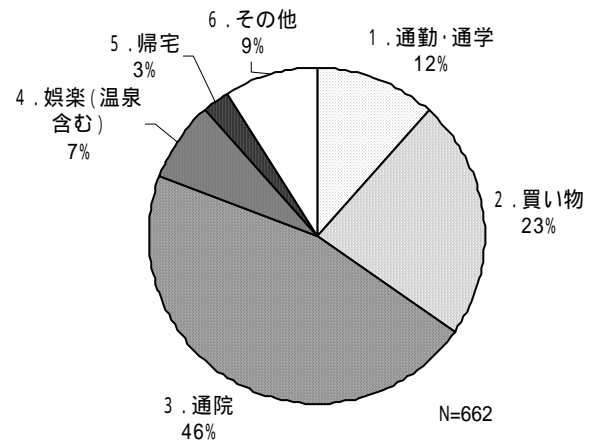


バス利用の目的

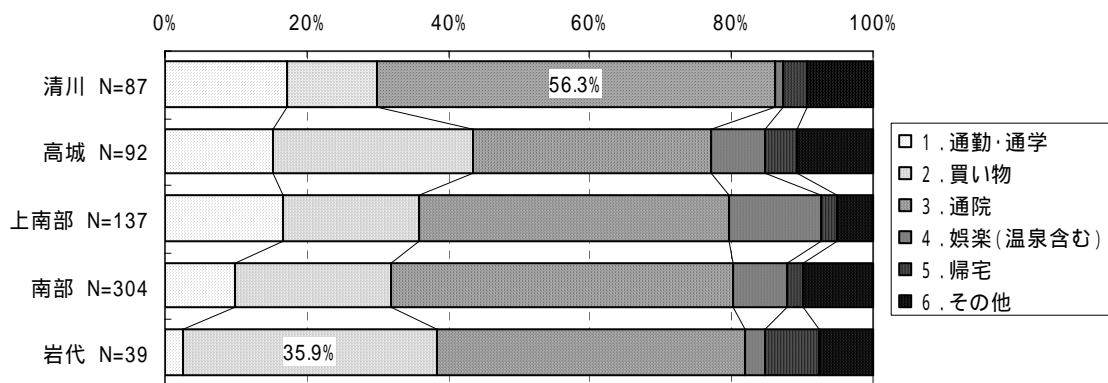
通院が46%と最も多く、次いで買い物、通勤・通学となっている。

特に清川地区では通院目的が56%と高い。
岩代地区では、通院と同じく買い物による利用が約35%と高く、通勤・通学による利用はほとんどない。

(全体)



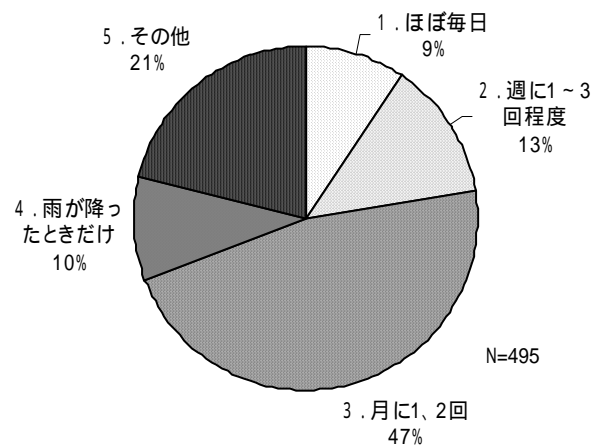
(地区別)



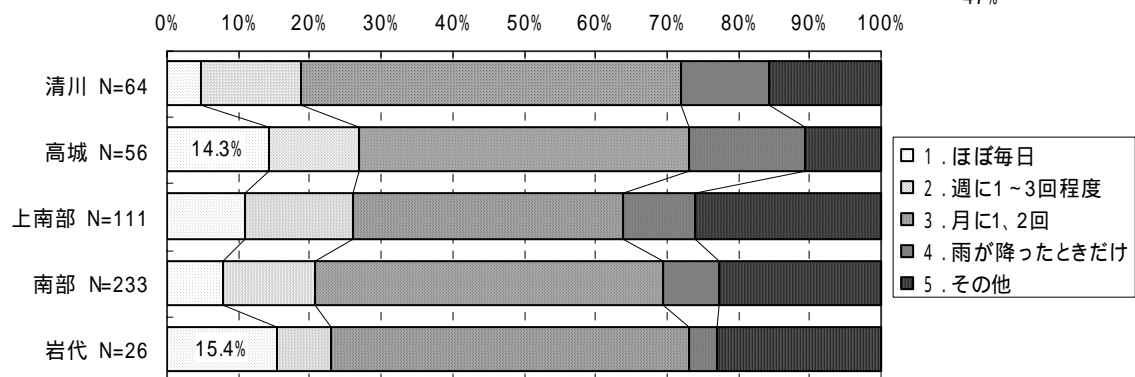
利用頻度

バス利用者のうち約半分が月1, 2回の利用となっている。その他の理由としては家族の送迎がない時などがあげられ、雨の日のみの利用とあわせて条件によって利用頻度が異なる人は、全体の約3割となっている。

(全体)



(地区別)



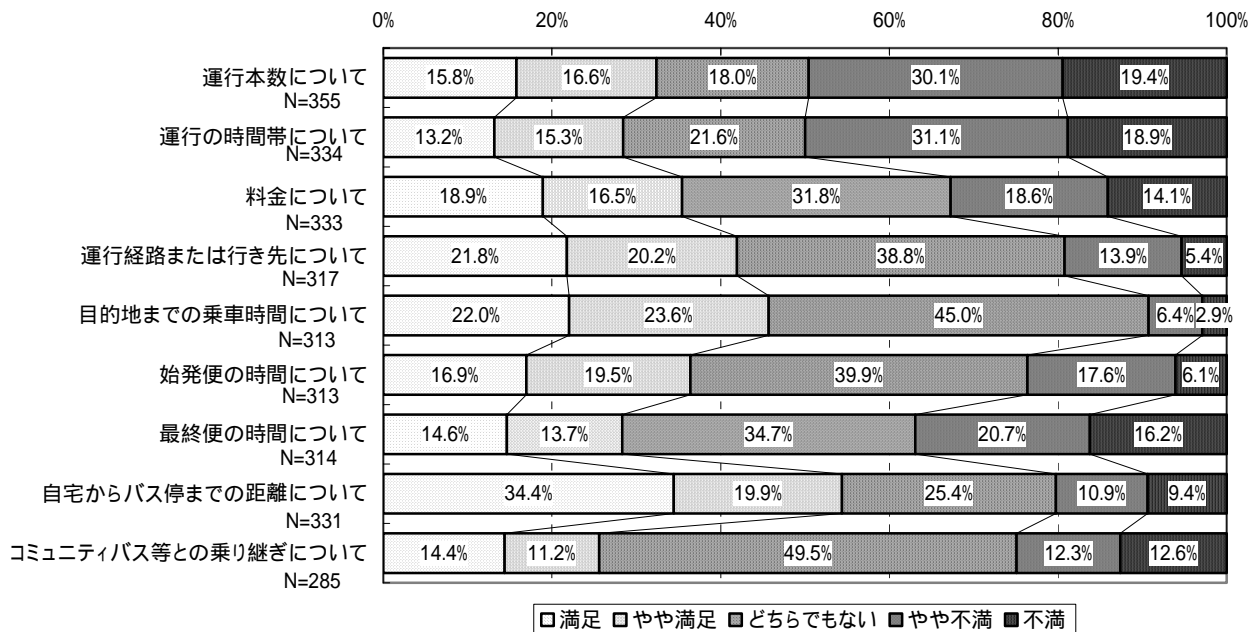
問 4 - 2 . 路線バスの運行について

(路線バス利用世帯のみ回答)

路線バスを利用している人に対してバスの運行状況を評価してもらったところ、「満足」と「やや満足」(どちらかという満足)、「不満」と「やや不満」(どちらかという不満)と答えた項目の上位は、それぞれ下表に示す通りとなった。現在バスを利用している人への設問であるため、「自宅からバス停までの距離」や「運行経路または行き先」などについては、満足度が高くなっている。しかし「運行の時間帯」や「運行本数」についての評価は低い。

	どちらかという満足		どちらかという不満
自宅からバス停までの距離について	54.4%	運行の時間帯について	50.0%
目的地までの乗車時間について	45.7%	運行本数について	49.6%
運行経路または行き先について	42.0%	最終便の時間について	36.9%

(全体)

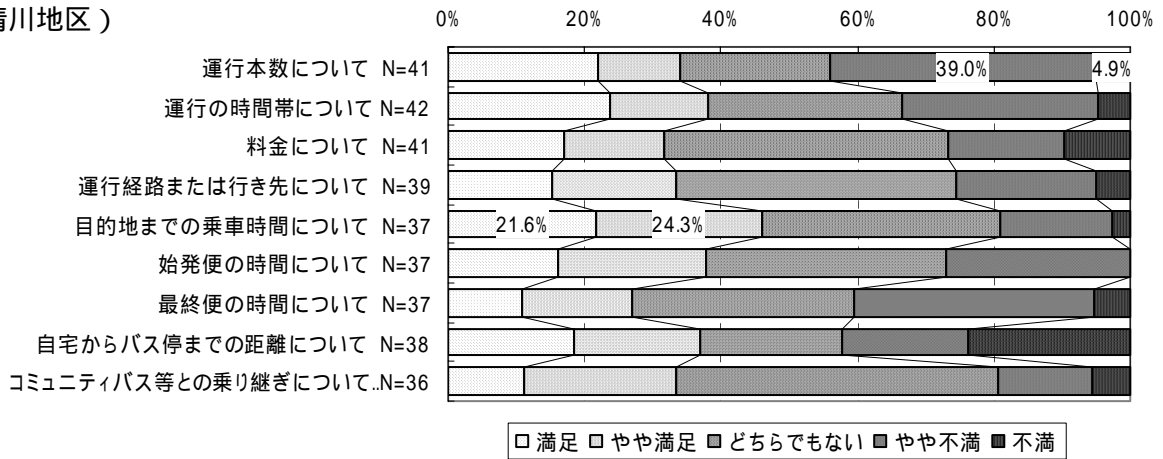


地区別で見ると、「自宅からバス停までの距離」について「どちらかという満足」と答えた割合は清川地区以外が高くなっている。

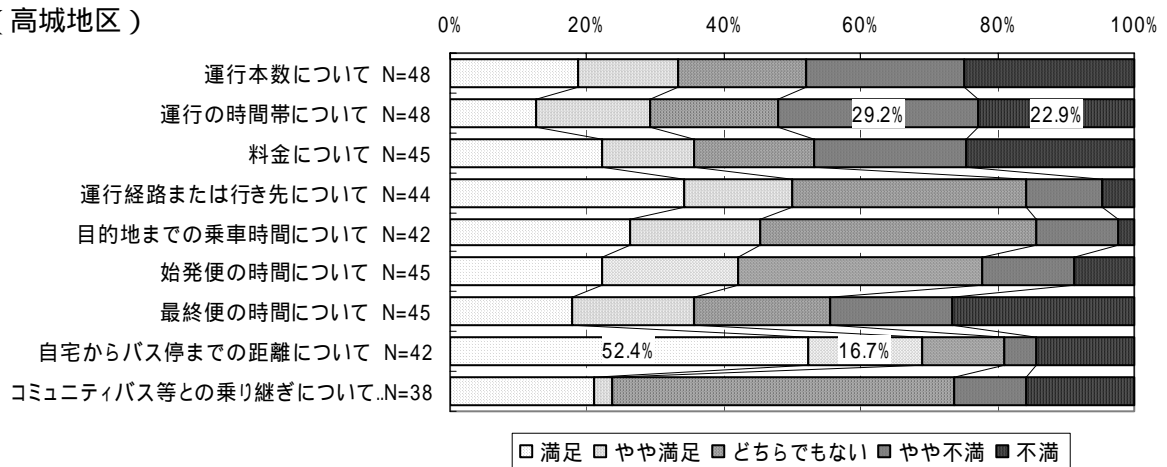
「コミュニティバス等との乗り継ぎ」に対する評価は地区間で差があり、清川地区と上南部地区で若干が高くなっている。

評価が低い項目としては、南部地区の「運行時間帯」と岩代地区の「運行本数」があげられる。

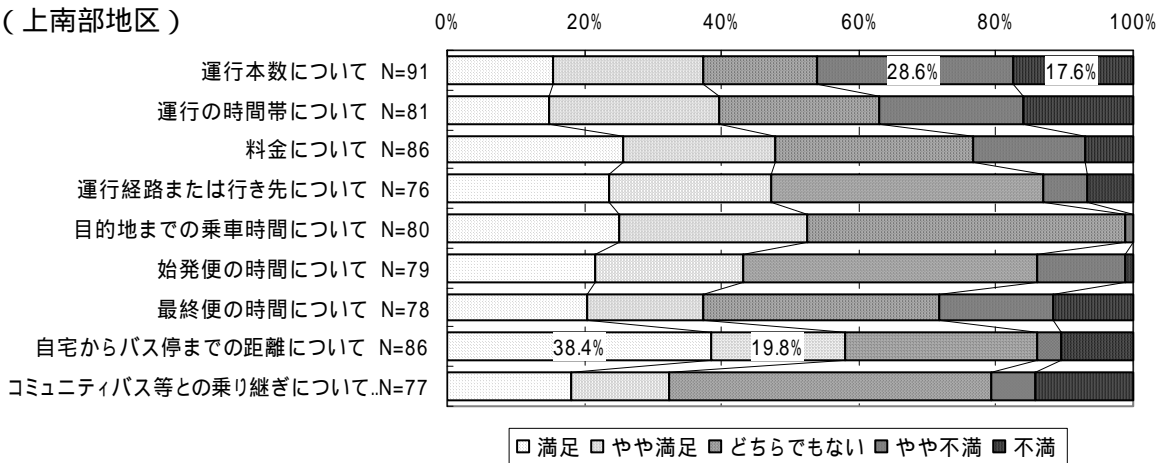
(清川地区)



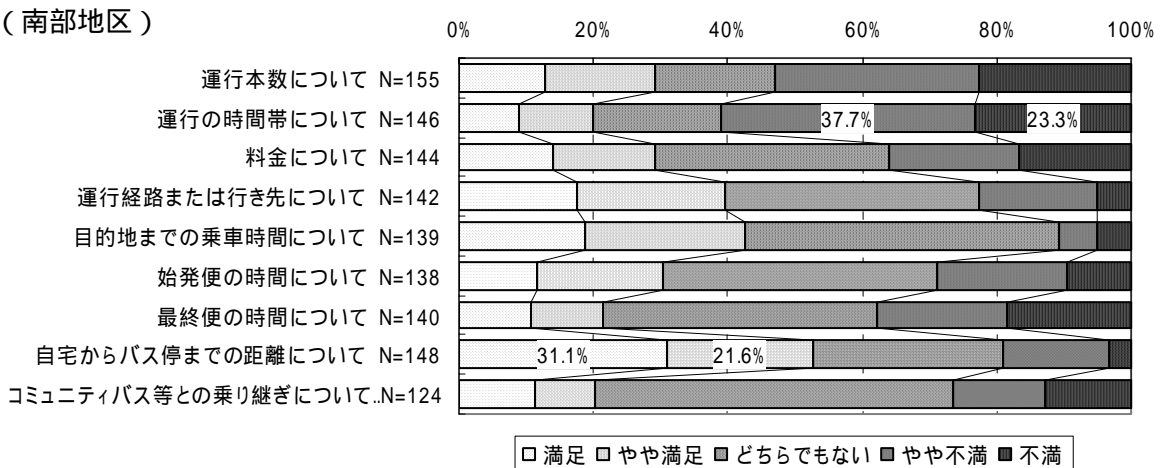
(高城地区)



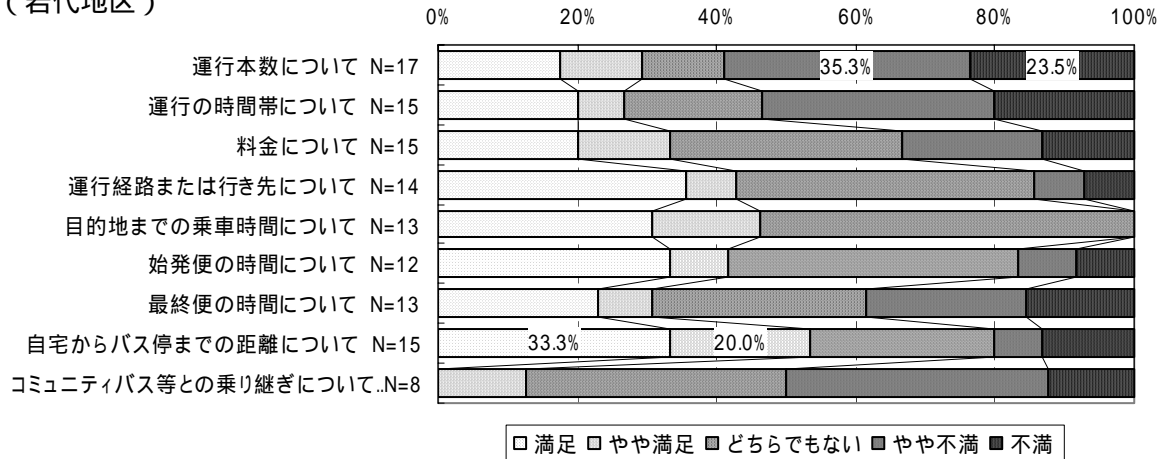
(上南部地区)



(南部地区)



(岩代地区)

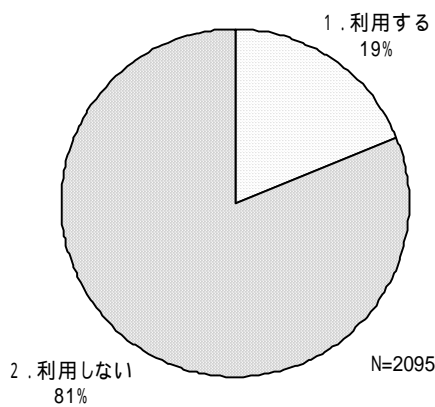


問 5 . 路線バスの運行条件が改善されたらバスを利用しますか。

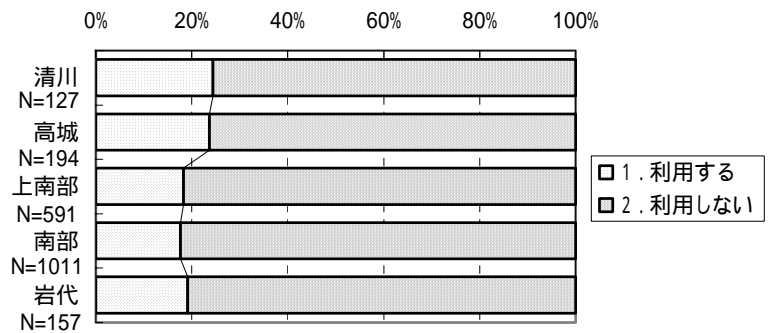
(路線バスを利用しない世帯のみ回答)

利用すると答えた人は全体で 19%あり、65 歳以上の一人暮らし世帯での回答が 26.4%と若干高くなっている。

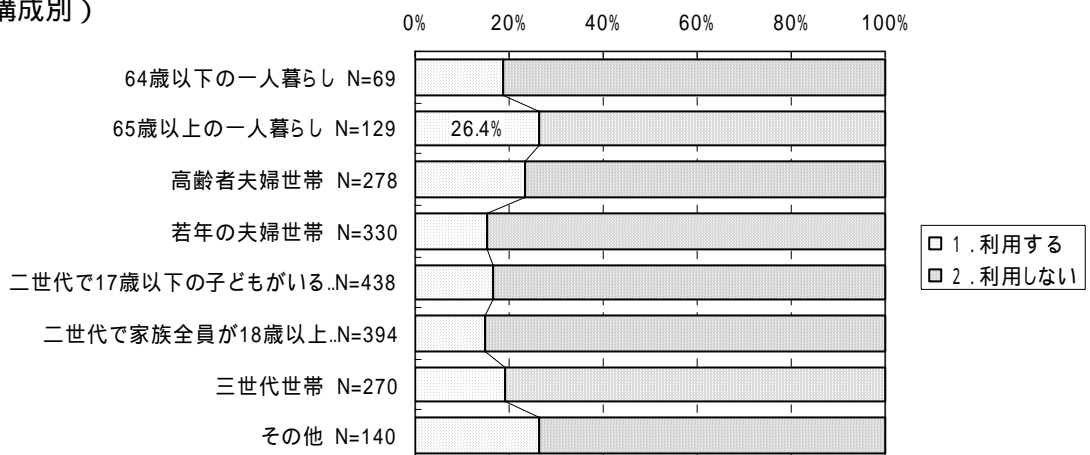
(全体)



(地区別)



(家族構成別)

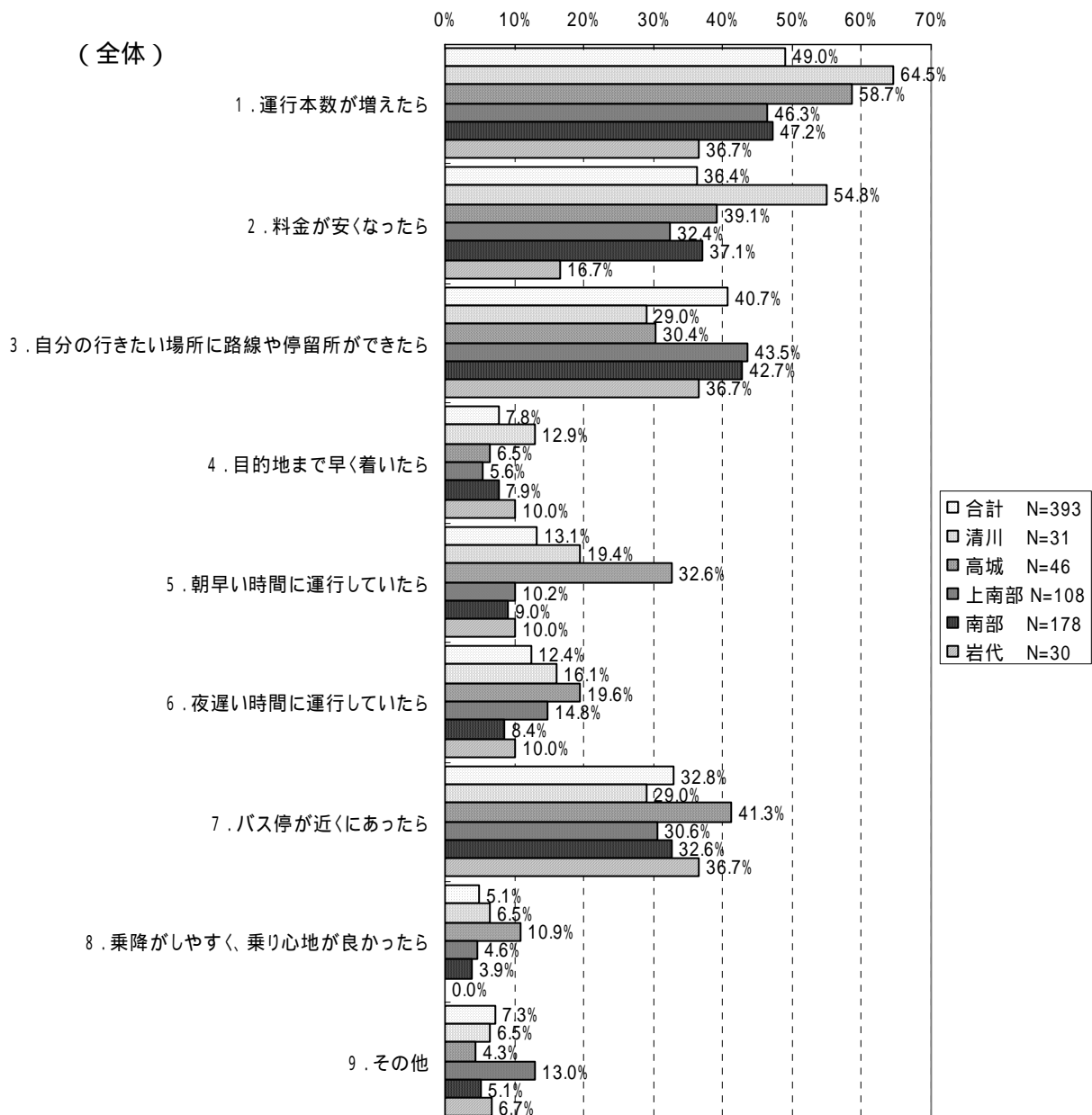


問 5 - 1 . どのような条件が改善されたら利用しますか。

(条件によって路線バスを利用する世帯のみ回答)

全体で最も多い回答は、「運行本数が増えたら」で 49.0%、次いで「自分の行きたい場所に路線や停留所ができたら」が 40.7%、第 3 位が「料金が安くなったら」の 36.4%となっている。

地区別に見ると、「運行本数が増えたら」の清川地区 64.5%、高城地区 58.7%、「料金が安くなったら」の清川地区 54.8%と 5 割を越えている項目がある。また、高城地区では「朝早い時間に運行していたら」や「夜遅い時間に運行していたら」といった運行時間に対する要求が他地区より高くなっている。岩代地区では、全体で第 3 位であった「料金が安くなったら」は、16.7%と低くなっている。



家族構成別で見ると、「バス停が近くにあったら」が「65歳以上の一人暮らし」(44.1%)、「高齢者夫婦世帯」(44.6%)で第2位となっている。また、2世代で17歳以下の子どもがいる家庭では、「朝早い時間に運行していたら」が他地区より高くなっている。

(家族構成別)

